

九州電力が純粋持株会社体制への移行を表明 — 格付に影響せず

以下は、九州電力株式会社（証券コード：9508）が26年3月26日に、単独株式移転による純粋持株会社体制への移行を表明したことについての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) 26年3月26日に、当社は26年10月1日に純粋持株会社体制へ移行することを公表した。24年1月には、グループ体制の変更を検討すると表明しており、本件はその一環である。総合エネルギーサービス事業と、再生可能エネルギー・海外・ICTサービス・都市開発等を合わせた成長事業の両輪で、さらなる成長を追求していく中、全体最適視点でのグループ経営と各事業の自律的かつ迅速な事業運営を実現できる体制への移行が必要との認識が本件の背景にある。
- (2) JCRでは、25年7月29日に当社の格付を「AA/安定的」と公表している。その後の業績は堅調に推移しており、特段信用力に影響を及ぼすものはない。本件は当社グループ内における再編であり、連結ベースでみたグループ信用力への影響はない。今後の事業会社に対するガバナンスの在り方や資金調達構造などを確認していくが、現状、グループ支配力や持株会社自身の収支構造などに関し、格付上留意すべき要素はないとみられる。

(担当) 殿村 成信・小野 正志

【参考】

発行体：九州電力株式会社

長期発行体格付：AA

見通し：安定的

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っており、JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会が定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル